

非住宅市場向け エネルギーマネジメント システムの展開。

電力市場が大きな転換期を迎える中、この4月に改正省エネ法が施行。

省エネ化の推進に加えて、新しいエネルギー管理が求められています。

この市場の変化、時代の潮流をとらえ、エネルギーマネジメントのシステムを整備。

電気工事会社様の新しいビジネスチャンスにつなげていただける商品とサービスをご提供します。

電力市場の変化が 新しいビジネスチャンスを創出

電力供給は、長く安定供給の時代が続きましたが、東日本大震災を経て、個々に抑制が求められる時代になりました。そして今、電力小売りの完全自由化を目前にし、電力を選択する時代になります。

これまでは小規模オフィスビル・商店等との1顧客1契約で、サービスの選択余地もありませんでした。今後は、複数の電気事業者から自由に選択でき、地域限定の枠もなくなります。サービスについても電力とサービスのセット販売なども増え、選択のバリエーションも増加していくものと思われます。

ピーク対策を実施するための エネルギーマネジメントを

この4月に施行された改正省エネルギー法では、エネルギー使用量の総量に加えて「時間帯」という概念が盛り込まれました。電気需要平準化時間帯のエネルギー管理、いわゆるピーク対策が必要に。その有効な手段として照明や空調のデマンド監視、太陽光発電や蓄電池の活用が注目を集めています。

これまでは照明や空調などの機器単体の省エネ化が主流で、電力管理も総量管理、結果掌握というものでした。しかし、今後は照明や空調などがコントローラでつな

がり、全体で省エネ化するシステムになり、電力管理も総量だけでなく、時間帯管理、プロセス掌握という、より細分化されたマネジメントが必要になります。

お客様のニーズ、業態に合わせた ソリューション提案を

パナソニックは新しいエネルギーマネジメントの対応策を3つのステップでご提案します。また、データ収集・管理をサポートするサービス「エコサス」もご用意。通信コスト(メール機能を利用)もおさえ、よりご活用いただきやすくなりました。

ステップ1 見える化～簡単デマンド監視

ステップ1は、見える化～簡単デマンド監視です。多回路エネルギーモニターやエコパワーメータで電力使用量を計測し、見える化。目標デマンド値を設定し、ピークをシグナルや警報で知らせるシステムです。低コストでのデマンド監視が可能ですが、制御は手動で行う必要があります。

ステップ2 デマンド監視～自動コントロール

ステップ2は、デマンド監視～自動コントロールです。EcoLogixシリーズのコントロールユニットで、ピーク検知して自動で消費電力を抑制するシステム。ピーク検知を3



段階に設定でき、しかも複数の空調をローテーションで制御できるため、快適性を維持しながらデマンドコントロールが可能になります。

ステップ3 創蓄連携のピーク対策

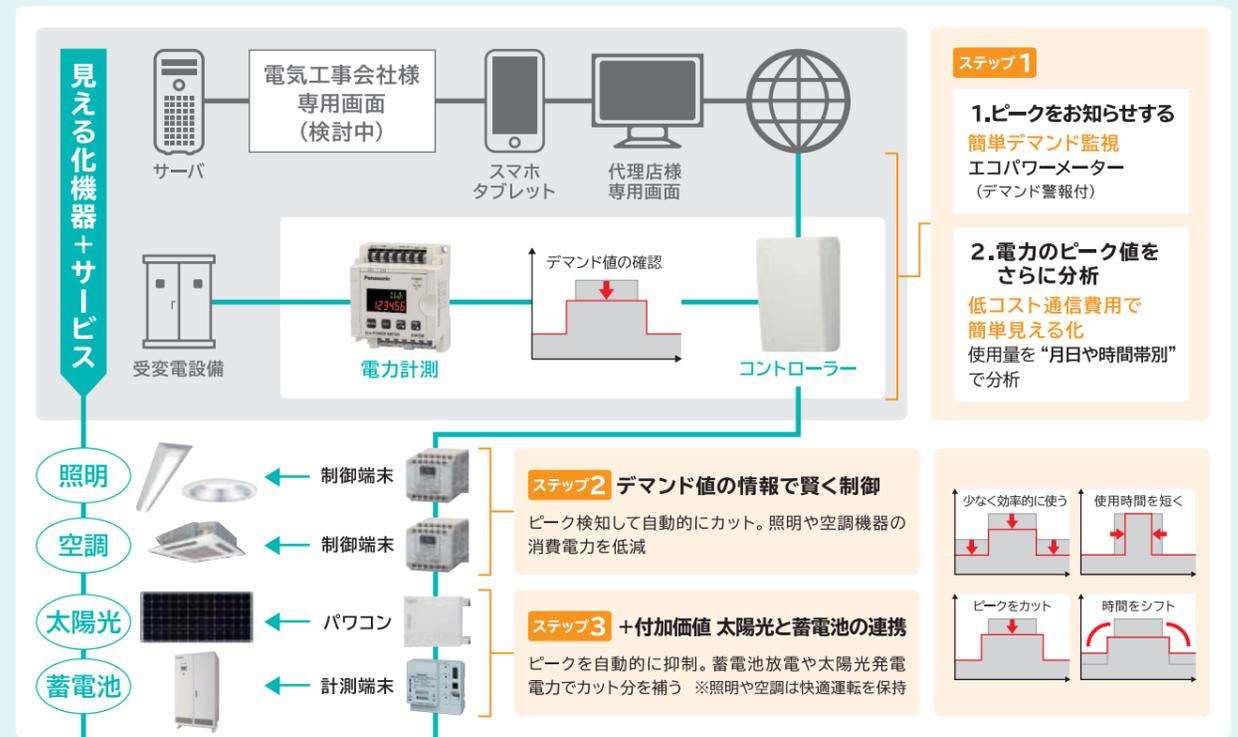
ステップ3は、創蓄連携のピーク対策です。太陽光発電の電力を自家消費し、ピーク時のカット分を補う方法。また、深夜電力などで蓄えた蓄電池からの放電でカット分を補う方法です。デマンド監視と創蓄連携システムを活用すれば、快適な省エネ化を実現できます。

ステップ3の創蓄連携システムをご採用いただけるよう、太陽光発電連係型のリチウムイオン電池の品種が充実。高圧受電施設用、低圧連係用、それぞれに新機種を発売予定です。

■太陽光連係型 リチウムイオン蓄電システムのラインナップ

	高圧受電施設用	低圧連係用	
外観			
品番	XLJ-MH20A2	XLJPA25532	XLJPA25533
蓄電容量	20kWh	5kWh (10kWh)	10kWh
太陽電池	20kW	5kW (10kW)	5kW
系統接続	三相3線200V	単相3線200V	
停電時 特定回路 出力	3相3線式 200V 20kVA (単相出力はオプション対応)	単相3線式 200V 出力2kVA	単相3線式 200V 出力3kVA
切替時間	自動切替 約1秒後	自動切替 約5秒後	
充電時間	仕様検討中	約4時間	約6時間
仕様環境	屋内使用 (屋外オプション対応)	蓄電池は室内	
サイクル数	約10,000サイクル	約6,000サイクル	

■エネルギーマネジメントの内容



効率的にエネルギーを使用することで、省エネと快適の両立を目指します

パナソニックは、省エネ・創エネ・蓄エネ機器に加えて、エネルギーマネジメント技術をご提供。様々な業種、業態のニーズに合わせた最適のソリューションをご提案し、

エネルギー管理の新時代にふさわしい、効率的なエネルギーの使用で、省エネと快適の両立を目指してまいります。